

2020 年度「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
香川県における専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業

成果報告書

本報告書は、文部科学省の生涯学習振興事業委託費による委託事業として、一般社団法人 香川県専修学校各種学校連合会が実施した 2020 年度「専修学校グローバル化対応推進支援事業」の成果をとりまとめたものです。

一般社団法人 香川県専修学校各種学校連合会
令和3年3月

はじめに

香川県専修学校各種学校連合会の「香川県における専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業」の成果報告に際し、ごあいさつを申し上げます。

2020年は年初からの新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、我が国のさまざまな社会活動が自粛されることとなり、私たちの教育の場へも大きく影響を与えることとなりました。

この影響は、アルバイトのシフト減少などにより、生活に困窮する学生たちも多く、その学生たちに地元企業や自治体が救済の手を差し伸べてくださいました。

このことは留学生のこころに響き、将来日本で就職したい、という気持ちに必ずつながっていくものと考えます。

今年度で通算3年目の取り組みとなる

香川県のグローバル事業もその実施については計画の一部を変更することを余儀なくされた部分もあります。

特に昨年度までの事業において連携関係を作ってきた海外の機関との交流や新たな協定先との意見交換・提携については残念ながら、断念せざるをえませんでした。

そんな中でもこの事業を通じ、香川県への留学を希望する学生が、来春4月の入国を目指し、ビザ申請をしております。

これも香川県内の専門学校、経済界、行政と、海外の連携機関双方のご理解・協力の賜物と考え、あらためて感謝いたします。

我々教育機関が春の時点でオンラインでの授業や教材の開発を工夫しておこなってきたように、この厳しい状況だからこそ力を合わせて出てきたアイデア、蓄えられたノウハウもあるはずです。

現在もコロナ禍にあり、静かな終息を願うばかりではありますが、ウィズコロナ、アフターコロナを思うにあたり、来年度以降も引き続き海外との連携と国内での外国人留学生の受け入れ体制の構築について強化をしていくとともに、厳しい環境の変化にも対応できる新しい仕組み作りと職業人材育成への気持ちをあらたにするところです。

このような状況下ではありますが、みなさまには健やかに過ごしていただけますようお願いいたします。

2021年3月

一般社団法人 香川県専修学校各種学校連合会
会長 大平 康喜

I.事業概要

1. 委託事業名

2020 年度文部科学省委託事業「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
各地域における外国人留学生の戦略的受け入れに向けた体制整備
香川県における専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業

2. 事業実施期間

2020 年 9 月 15 日～2021 年 3 月 15 日

3. 事業の趣旨・目的

香川県内の在留外国人数は、2017 年に1万人を超え、2019 年には 13,385 人となり、人口比(1.4%)と ともに四国4県にあつては最も多く、在留資格別にみる留学生数は 712 人(うち専門学校生 347 名)と四国で最も多く、この3年では年 100 人増と飛躍的伸びをみせている。人口流出県である香川県にあつて外国人口の増加は喜ばしいことであるが、今後も県内の人口減少による労働力不足の解決を外国人に頼らざるを得ないことは地方にあつても期待するところであり、専門学校としてもこの解決に取り組んできた。行政機関・経済界との連携による3年間のグローバル事業の結果、また昨年度創設された新しい在留資格「特定技能」により、香川県の経済を担う中核人材となる優秀な専門学校留学生への期待はさらに大きくなっている。2015 年に策定された香川県による「新・せとうち田園都市創造計画」には活力ある地域づくりのための具体的施策の中には国際交流・国際協力の推進とともに「外国人とともに暮らす香川づくり」も盛り込まれ、多数の留学生を輩出する専門学校への期待も寄せられている。専門学校生の多くは香川での就職を希望しており、地方での学びの魅力発信だけではなく、出口の視点からは、まだ十分とはいえない県内就職までの体制の整備も急務である。

具体的には、海外の教育機関、国内の日本語教育機関に対する適切な日本の職業教育情報の提供から香川県での就職に至る一貫した受け入れプログラムを構築すること、またターゲットとなる各地域での留学生関連事業の中で、情報共有を図るとともに共通する課題を抽出し、今後の施策立案に資することが重要である。これらの事業を推進することにより、将来的には専門学校留学生の母国での専門人材育成支援につながるネットワーク構築や、新型コロナウイルス終息後の経済動向を見据えつつ、専門学校卒業後の国内での就職機会の拡大を目指し、安定的な留学生の受け入れ体制の整備と、海外との連携の促進・強化を図ることを目的とする。

外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域):

ベトナム、インドネシア、台湾、ロシア・ベラルーシ(新規)

外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野:

介護福祉分野、自動車整備分野、ホテル・観光分野

当該地域において取組を進める意義①

本県の人口は、平成7年に(約 102 万人 国勢調査より)ピークを迎えた人口が減少し始め、平成 52 年に約 77 万人(日本創成会議・人口減少問題検討分科会試算より)にまで減少することが予測されている。中でも年少人口・生産年齢人口の減少は深刻で現在の約 67 万人から平成 52 年には、48 万人まで減少することが予測されている。

このような状況の中、優秀な外国人留学生の受け入れを拡大し、将来質の良い働き手を確保・増加させることは地方都市においても喫緊の課題となっており、既に香川県、高松市においては具体的施策として動き始めている。

このため、本連合会は、県内行政機関や香川県の発展を牽引している企業、専門学校が連携し、諸外国政府機関や教育行政機関、大学、高校、日本語教育機関等との関係を築き、留学生受け入れから、就職マッチングに至るまでの一連のプロセスについて総合的に検討協議し、体制を整備する。

今年度は香川県で学んだ留学生の定着・就労にも重点を置き、就労のサポート面では香川県行政書士会と連携協定を締結し、専門学校生の就労ビザの取扱数と取得率の確保に向け、セミナーの開催や勉強会を開催し、共同で学んでいく。

また、今春より猛威を振るうコロナウィルスの影響で入国が出来ない留学生が多数存在する状況を鑑み、入国が可能になった時にスムーズに専門教育へ移行できるオンラインのコンテンツ開発やアフターコロナの日本において留学生が厳しい就職活動に打ち勝っていける就職活動マニュアル(テキストとビデオ教材)の検討も視野にいれていく。

【香川県の在留資格別にみる留学生数の推移】入国管理局統計

2019 712 人 2018 600 人 2017 529 人

※在留外国人数で四国4県中1位(人口比 1.4%)留学生数も1位

【香川県の外国人延べ宿泊者数の推移】観光庁旅行統計

2019 592 千人 2018 546 千人 2017 482 千人

香川県高松市は、旅行予約サイト世界大手のブッキングドットコム(オランダ)が発表した「2020 年に訪れるべき目的地 10 選」に、国内の都市で唯一選ばれた。また、旅行価格比較サイト・スカイキャナー(英国)の「2020 年に注目すべき新興目的地トップ 10」の3位に入った。

人口流出県としての香川は地方の人口減少に対する施策である「かがわ創生総合戦略」の一環として豊かな自然資源を活用した「瀬戸内国際芸術祭」を始めとして世界的な「SETOUCHI」ブランドづくりに成功している。また、生活面においては、民営家賃は東京都の半分以下(3.3 m²あたり 4,040 円)、消費支出に占める食費の比率は全国 47 位(23.1%／全

国平均 24.7%)と本連合会の過去3年間のグローバル事業を通してほとんどの外国人留学生は「まなび」易く、「くらし」易い場所として評価をし、卒業後も香川での生活を希望している。

香川県は次期「かがわ創生総合戦略」の施策の一つとして外国人労働者の受け入れ支援とあわせて、多文化共生の社会づくりなどにも取り組みことを打ち出しており、優秀な外国人の受け入れには今後も協力体制を継続し事業の推進をはかることができる。

しかしながら、2020年春から世界的な猛威を振るった新型コロナウイルスは経済面にも大きな打撃を与え、この影響は留学生の学び、就労にも及ぶことが予測される。

このような状況下にあっても日本の医療・衛生面を含む安全性のアピールは今後不可欠になり、これに加えて地方の優位性も明確にすることで地方における外国人サポートのモデルケースとする。

これらのことから、本連合会として「専修学校グローバル化対応推進支援事業」を受託することにより、企業・教育機関・県や市町村、海外教育機関等が連携し、優秀な留学生の掘り起こしから、外国人にとって働きやすい環境作りまでをカバーした総合的かつ戦略的な受け入れ体制を整備することが期待できる。

当該地域において取組を進める意義②

【ターゲット国(地域)・分野と本県連合会との関わり】

■ベトナム

・香川県がベトナムハイフォン市と将来交流協定締結に向け活動中であり、H17より、行政人材交流をはじめとして、保健医療分野でのプロジェクト事業をH31年まで実施してきた。瀬戸内芸術祭での人的交流などもつづいており、今後もハイフォンとの連携は香川県としても継続しておこなっていく中で教育の分野でも連携を強化できるよう働きかけたい。

〈昨年までの事業実績〉 【提携3校】

ハイフォン市外務局の後押しもあり、2020年秋より香川留学生受け入れ予定

・香川県との交流都市であるハイフォン市において、小学校から高等学校までを統括する教育訓練局では日本語の授業を早期に取り入れ日本への人材供給を計画しており、協議を継続していく。※新型コロナの影響下で協議中断中

・2019年度はハイフォン市以外の都市での調査・連携の結果、大学との連携調印にもつながった。福祉分野、自動車整備分野、IT分野にも今後留学数の拡大に期待が大きい。

■インドネシア

・毎年5%以上の経済成長率を維持する急成長国家であり、現在名目GDPは世界16位(ASEAN諸国1位)であり人口は約2億6,000万人。

今後中間所得層の拡大により留学生増がさらに見込める。

＜昨年までの事業実績＞ 【提携23校】

インドネシアから2020年10月生として13名が入国済、さらに2021年4月生として現在のところ8名がビザ申請している。

最も本事業活動の効果の大きいエリア。福祉・自動車分野を中心として日本の職業教育への関心が高く、現在3つの団体・法人計31名が自費にて香川県視察に訪れた。特に教育行政を含めた職業高校とのパイプを築くことができた。

※新型コロナの影響で2月に予定の複数校の校内説明会が中止

看護師、介護福祉士候補生は多数日本に在留しており、職業としての介護福祉士の認知度も高く、日本における香川県の認知度を高めることにより、福祉分野での留学生数拡大が期待できる。また、インドネシアにおける自動車シェアの9割が日本車であり、香川県で就学し国家取得を取得し香川県で就労した後、日本で習得した技能・技術を帰国後も活かすことができるため、自動車整備分野での留学生拡大も期待できる。

■台湾

・2016年7月18日 香川県と桃園市との交流協定締結・2017年5月1日 高松市と基隆市との交流協定締結

＜昨年までの事業実績＞ 【提携3校】

※新型コロナの影響で2月予定提携の大学2校でのインターンシップ説明会、高校内説明会が中止

インターンシップが香川で実現に向け調整中。日本同様に進学率は上昇の一途をたどるが、実学を学ぶ大学(科技系大学)が増えていることにもよる。

労働者不足が深刻化しており、東南アジアの華僑の2世3世を台湾に呼び込む政策も行われている。旧来よりの親日国であり、伝統・現代両面の日本文化に対する関心、日本観光の人気は高く、日本語教育の裾野の広さを支えている。加えて2013年より高松空港と桃園国際空港間での定期便就航以来年々人物往来が増え続けており、観光分野を中心にIT分野にも今後留学数拡大に期待が大きい。

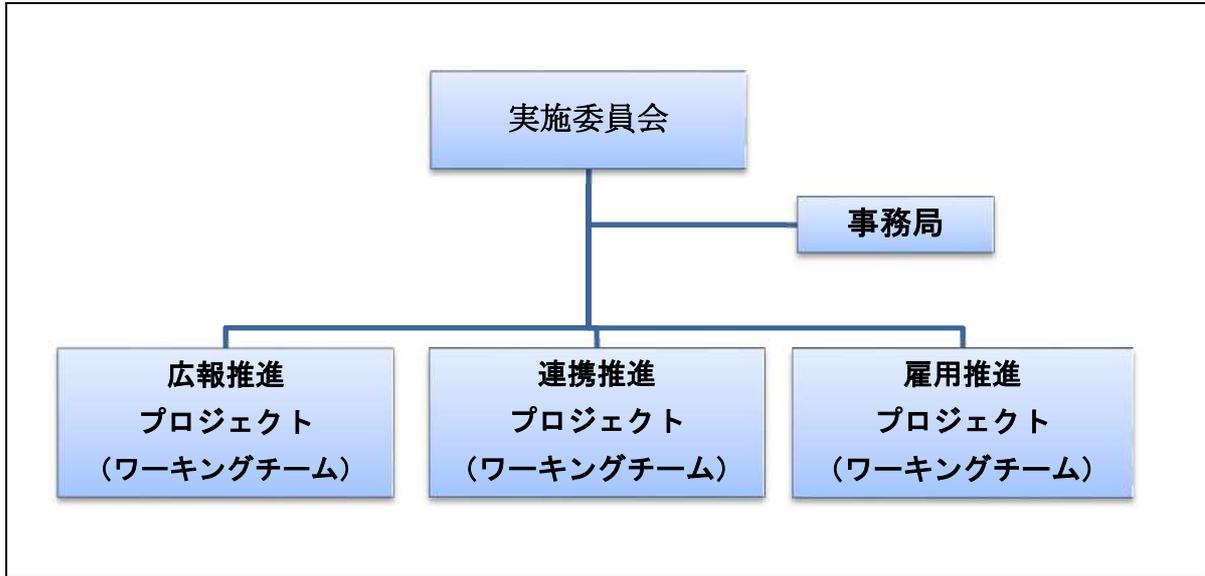
■ロシア(ヨーロッパロシア)・ベラルーシ(新規)

主な都市の人口規模:ロシア モスクワ州(モスクワ市含む)1,900万人 レニングラード州(サンクトペテルブルグ市含む)700万人

ベラルーシ ミンスク州(首都ミンスク市含む)340万人

・香川県の日本語教育関係者とロシアをはじめとしたロシア語圏の国との関わりは長く、現地で日本語の教育に携わる教育関係者を通じ、モスクワ市立教育大学とのパイプを生かし、日本留学の可能性を調査。アニメ・デザインといったクールジャパンコンテンツをきっかけとして、日本での就労希望者は増加の傾向にある。ロシアの高校では学べない調理・製菓やデザイン・アニメといった分野に期待できる。

4 事業の実施体制(イメージ)



5 構成機関・構成員等

(1) 構成機関(機関として本事業に参画した学校・企業・団体等)

	名称	役割等	都道府県名
1	学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビジネスカレッジ	実施委員会	香川県
2	学校法人穴吹学園 専門学校穴吹工科カレッジ	実施委員会	香川県
3	学校法人穴吹学園 専門学校穴吹コンピュータカレッジ	実施委員会	香川県
4	学校法人穴吹学園 専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ	実施委員会	香川県
5	学校法人すみれ学園 四国医療福祉専門学校	実施委員会	香川県
6	吉田愛服飾専門学校	実施委員会	香川県
7	学校法人北川学園 キッス調理技術専門学校	実施委員会	香川県
8	学校法人朋友学園 四国総合ビジネス専門学校	実施委員会	香川県
9	一般社団法人香川経済同友会	実施委員会	香川県
10	高松商工会議所	実施委員会	香川県
11	株式会社百十四銀行	実施委員会	香川県
12	日本貿易振興機構	実施委員会	香川県
13	香川県行政士書士会	実施委員会	香川県
14	香川県専修学校各種学校連合会	実施委員会	香川県
15	香川県 総務部知事公室国際課	実施委員会	香川県
16	香川県 商工労働部労働政策課	実施委員会	香川県
17	高松市 創造都市推進局 観光交流課観光交流室	実施委員会	香川県

18	高松市 創造都市推進局産業経済部産業振興課	実施委員会	香川県
----	-----------------------	-------	-----

(2) 構成員(委員)の氏名(上記(1)の機関から参画した者及び個人で本事業に参画した者等)

	氏名	所属・役職	役割等	都道府県
1	大平 康喜	香川県専修学校各種学校連合会 会長	委員長	香川県
2	亀本 浩史	香川県専修学校各種学校連合会 事務局長	副委員長	香川県
3	吉本 和絹	穴吹パティシエ福祉カレッジ 国際部	副委員長	香川県
4	中村 壽敏	穴吹コンピュータカレッジ 留学生サポートセンター 所長補佐	委員	香川県
5	井上 和之	穴吹コンピュータカレッジ 就職キャリアセンター部長	委員	香川県
6	池下 慎一郎	穴吹ビジネスカレッジ 国際部 次長	委員	香川県
7	村上 仁	穴吹工科カレッジ 国際部 課長	委員	香川県
8	森 國夫	四国医療福祉専門学校 校長	委員	香川県
9	吉田 弘子	吉田愛服飾専門学校 校長	委員	香川県
10	岡本 哲夫	四国総合ビジネス専門学校 校長	委員	香川県
11	北川 大祐	キッス調理技術専門学校 事務局長	委員	香川県
12	大谷 誠一	一般社団法人香川経済同友会 事務局長	委員	香川県
13	大西 理之	高松商工会議所 活性化推進室 次長	委員	香川県
14	南側 和明	株式会社百十四銀行 地域活性化推進グループ	委員	香川県
15	岡田 春彦	日本貿易振興機構 香川事務所所長	委員	香川県
16	菊池 達司	香川県 総務部知事公室国際課 課長	委員	香川県
17	藪木 泰伸	香川県 商工労働部労働政策課 課長	委員	香川県
18	三宅 菜緒子	高松市 創造都市推進局観光交流課 観光交流室長	委員	香川県
19	西岡 享史	高松市 創造都市推進局産業経済部産業振興課 課長	委員	香川県
20	入江 宏幸	香川県行政士書士会 会長	委員	香川県
21	十川 宣治	元ヴィトリス・ベーリング記念カムチャツカ国立大学 外国語学部東洋語研究室准教授	委員	香川県

6 事業の取り組み体制・ターゲット

【1】体制

○実施委員会

本事業の方針及び戦略決定、予算執行管理等を担当する。

○広報推進プロジェクト

諸外国における連携機関の開拓、香川県の魅力を発信する留学生 Web サイトの管理・効果測定やプロモーション動画ツールの開発を担当する。

○連携推進プロジェクト

各ターゲットエリアにおける連携強化、現地でのイベント開催についての調整を担当する。また、連携機関の香川招聘について国内外の調整を担当する。

○雇用推進プロジェクト

受け入れ体制構築セミナーの企画、インターンシップから就労に繋げる仕組みの開発、香川県行政書士会との連携を担当する。

○事務局

事務管理及び連絡調整を担当する。

【2】戦略的に外国人留学生の受け入れを進める分野並びに国(地域)名について

外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域):

ベトナム、インドネシア、台湾、ロシア・ベラルーシ(新規)

外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野:

介護福祉分野、自動車整備分野、ホテル・観光分野

【3】取り組み内容

①ターゲット国・地域との連携強化

(1)～取組内容Ⅰ ターゲット国・地域における留学調査・連携協議～

(2)～取組内容Ⅱ ターゲット国・地域の教育機関関係者の香川県への招聘～

②広報ツールの更新・改訂と情報発信強化ツールの開発

(1)取組内容Ⅲ ～香川留学サイトとPRツールの更新～

(2)取組内容Ⅳ ～職業理解のための映像コンテンツ開発～

③香川県への留学生受入体制構築のためのセミナー等の開催

取組内容Ⅴ 香川県行政書士会との連携・留学生就労支援セミナーの開催

7 実施した取組の具体的内容

① ターゲット国・地域との連携強化(1)

～ターゲット国・地域における留学調査・連携協議～

i) 概要

目的：ターゲット国・地域に対し、日本の職業教育及び地方都市である香川県の専修学校への理解を深めるため、過去2年での事業を通し関係構築された海外機関、学校との連携の強化を図る。また、新しいエリアに対しても積極的に調査を実施し、地方における専門学校教育の認知度を高めることにより、留学生誘致を推進する。

対象エリア：①ベトナム ②インドネシア ③台湾 ④【新規】ロシア(ヨーロッパロシア)・ベラルーシ

②ターゲット国・地域との連携強化(2)

～ターゲット国・地域の教育機関関係者の香川県への招聘～

i) 概要

目的：本事業の過去の活動を通して連携協定が締結できた海外の行政機関・学校から留学関係担当教員および学生を招聘し、香川県の文化や魅力を体験的に理解していただくことや留学にあたっての具体的な教育カリキュラムのすり合わせを行う。地方における経済・文化・教育水準の首都圏との格差イメージを払拭し、地方ならではの「まなび」「くらし」「しごと」のメリットについて十分に理解を促し、他の地方における留学生の受け入れモデルケースとする。

奨学金などの留学後のサポート体制をはじめ、留学の不安点を解消することにより、香川県が連携協定締結校からの留学先として適切であることを実感していただき、留学生送り出しスキームを構築する。

ii) 本年度の具体的活動

本年度はじめからの新型コロナウイルス感染症の影響により、計画予定であったターゲット国・地域との関係強化のための渡航および昨年度に続く現地の行政関係者・教育関係者の香川県招聘は2020年末まで調整をするも実現できなかった。

しかしながら、オンラインでのミーティングにより、提携が出来ている機関については次年度にむけての関係維持と強化、また香川県との連携を希望するインドネシアの複数の高等学校との連携に向けての協議ができた。

昨年度の連携によるベトナムからの留学はコロナの影響により断念されたが、インドネシアから秋生として13名が入国、また2021年春の入国を目指して8名がビザ申請中となっている。

オンラインミーティング実施実績:

【ベトナム】

1月18日(月)オンライン会議 日本時間 16:00~18:00 ハイフォン市外務局

1月19日(火)オンライン会議 日本時間 15:00~16:00 市立ハイフォン工科短期大学

1月19日(火)オンライン会議 日本時間 16:00~17:00 私立バックゲ短期大学

※1月20日(水)ハイフォン市教育訓練局 局長会議を予定したが延期

【インドネシア】

西ジャワ州教育局のコーディネートによるオンライン会議

2月1日(月)第1部 2019年度提携の6校とのミーティング

日本時間 13:00~14:30

2月1日(月)第2部 2020年度提携予定9校とのミーティング

日本時間 14:30~16:00

【台湾】

2月12日(金)オンライン会議 日本時間 9:30~11:00 LeadersLanguage

2月24日(月)オンライン会議 日本時間 14:30~15:30 中国科技大学

2月25日(火)オンライン会議 日本時間 14:00~15:00 銘傳大学

③ 広報ツールの更新・改訂と情報発信強化ツールの開発(1)

～香川留学サイトとPRツールの更新～

i) 概要

目的 : 海外でのイベント及び国内での日本語教育機関で配布する情報ツール更新とターゲット国・地域に合わせた多言語化、これを入り口として地方の専門学校での「まなび」地方での「しごと」獲得に向けたPR手法を開発する。

ii) 具体的活動

取組内容: 多言語留学パンフレットを入り口として香川県留学生サイトへの誘引と日本の職業教育への理解、地方で学ぶメリットを理解させる。専門学校への入学から就労までのイメージを持たせ、安心感を与える。

また今後の日本の留学生募集の環境を見据え、オンラインでの説明会の効果的実施方法などを検討する。

① 香川県の魅力発信サイトの更新

・ターゲット国に向けての香川県の魅力を発信。(香川留学生プロモーション動画含む)

・ターゲット国にあわせた言語の更新を行う。

② 情報公開サイト

・本事業の成果物等を随時公開。

③ 令和元年度制作 香川留学・就労促進ツール「KAGAWA STUDY/LIFE」の

作成。

・2020年度は日本語版と新規ロシア語バージョンを各1,000部制作

④ 広報ツールの更新・改訂と情報発信強化ツールの開発(2)

～職業理解のための映像コンテンツ開発～

i) 概要

目的 : 新型コロナウイルスの感染対策をはじめとして、国内外の様々な留学生募集を取り巻く環境の変化に対応するためオンライン説明会などの新しい募集形態で利用できるツールの一つとして動画コンテンツを開発する。日本の職業教育を理解させること、専門分野における教育担当者や企業の担当者が直接に外国人留学生に語りかける。

ii) 具体的活動

取組内容: 香川県色は前年までから弱め、他の地方都市での学生募集に効果的に利用できるコンテンツに仕上げる。

- ① ターゲット分野毎に各10分程度の内容(介護福祉・自動車整備・ホテル観光分野の3本製作)
 - ・各分野における日本でのあるいは出身国での経済的な可能性・留学生への期待値
 - ・教育の担当者がカリキュラムを紹介、興味深い授業を紹介する。
 - ・留学を経験し、現在も地方で就労する外国人と留学生を登場させる。

- ② 日本の職業教育の理解を深めるPR動画
 - ・海外における職業教育機関は日本における専門学校の位置づけとは理解に違いがある。ターゲットとする国・地域に関わらず、日本の高等教育機関としての位置づけから地方における教育レベルの高さの理解を深めることを目的とする。
 - ・上記の3分野に加え、調理・製菓、IT、デザイン・アニメなどもダイジェスト的に映像として盛り込むことで留学のきっかけとなりうる短期研修や短期留学の足掛かりとする。

⑤ 香川県への留学生受入体制構築のためのセミナー等の開催

i) 概要

・香川県内の専門学校・企業を対象に「外国人留学生受入促進セミナー」を開催する。

インターンシップ受け入れの促進と同時に、新たな在留資格である特定技能・技能実習との差別化など就労ビザに関する知識を香川県行政書士会との連携事業により深めることを目的とする。

ii) 具体的活動

○企業を対象とした留学生受入・インターンシップ啓発セミナー

「外国人留学生就労支援セミナー2020」

主催／(一社)香川県専修学校各種学校連合会 協力／穴吹カレッジ香川留学生支援会

日時 : 令和3年1月27日(水) 13:30～15:00

場所 : 穴吹学園ホール 1F 大ホール

目的 : 地方都市における外国人労働者の採用の現状、事例紹介、情報の共有

対象 : 香川県内の企業・香川県内専門学校

テーマ : 「宮城県を中心とする東北地方における国際業務の取扱い事例」
～地方都市の専修学校で学ぶ留学生の就労ビザ取得への取り組み～

講師 : 宮城県行政書士会 業務開発推進特別委員会
外国人関連業務推進班

/LAM ライフアテンドみやぎ

行政書士 高瀬幸雄 氏 / 行政書士 橋元修一氏

4回目の留学生支援セミナー 会員校とその留学生支援団体との共催は2回目
34の企業・学校・団体から 55名が参加

○香川県行政書士会との包括協定締結・共同事業

2020年12月25日 協定調印

目的 : 外国人留学生の香川県内を中心とした国内就職に関する業務を通じて、相互の連携・協力により緊密な協力関係を築き、留学生との人的交流並びに知的交流を行い、個性豊かな地域社会の形成及び地域課題の解決を図り、学術・文化及び科学技術の進展、地域の振興、発展、活性化、未来を担う人材育成に寄与することを目的とする。

内容 : 上記の目的が達成できるよう、次の事項について連携・協力し事業を実施する。

- (1) 国際交流に関すること。(2) 県内企業就職セミナーに関すること。
- (3) セミナー等における採用企業、留学生へのビザの取得についてのアドバイスに関すること。(4) その他前条の目的を達成するために必要な分野に関すること。

「宮城県行政書士との外国人取扱業務に関する意見交換会」

日 時 : 令和3年1月27日(水)15:30~16:30

場 所 : 穴吹学園ホール 3F 大講義室

香川県行政書士会より会長はじめ7名が意見交換会に参加

- 新型コロナウイルスの影響による海外渡航と海外の関係者の香川県招聘が困難である場合の代替実施事業について

**⑥外国人留学生が学ぶ日本式就活教材（動画&テキスト）開発
～コロナ禍における国内留学生への就労サポート～**

目的：日本独特の就活環境において、留学生がスムーズに就活を行うため、就職活動に必要な基本のスキルや心得を学ぶ。

さらに、日本で働くことや自分のキャリアの方向性を理解し、人材の定着を図る。

また、2020年全世界が巻き込まれた新型コロナウイルス禍にあって、今後困難が予測される国内で学ぶ留学生の日本での就職・就労を実現するための助けとなる教材を開発する。

概要： a 動画放映時間 1タイトル当たり20～30分前後(12タイトル制作)

b 動画撮影に関しては撮影前にシナリオを作成の上、本事業雇用推進プロジェクトの承認を得ること

c 撮影場所の責任者に事前に撮影許可を得ること

d テキストは A4 サイズ 50 ページ程度とし、4色印刷し500部制作する